



あなたの町の

公民館づくり

～公民館の先進事例等の紹介～

公民館活動は戦後間もない昭和21年に開始され、60年余りが経過しました。

この間、公民館は、地域の人々にもっとも身近な学習や交流の場として、活力と潤いのある地域社会の実現のため、大きな役割を果たしてきました。今日においても、それぞれの地域性を生かし、多種多様な事業への取り組みがなされています。

しかしながら、公民館で開設されている講座については、数は増加傾向にありますが、その内容は、依然として、趣味・稽古事に関する講座が多くを占め、利用者が特定の住民に限定されている傾向にあるのではないかと考えられています。

現在、公民館が設置された時代とは、時代背景や社会の構造、国民意識やその成熟度が大きく変化している中、公民館の役割や講座の在り方についての見直しが必要となっています。

今後は、社会の要請に的確に対応し、子どもや若者、働き盛りの世代の人も含めて地域住民全体が気軽に集える、人間力の向上等を中心とした、コミュニティのためのサービスを総合的に提供する拠点へと大きく変わっていくことが求められています。このためには、地域の学習ニーズの把握、大学を含む地域の学習機会等のコーディネート、学習機会等の提供サービスの充実が望まれています。これまで利用の少なかった子どもや若者、働き盛りの世代の人の学習や活動の拠点ともなるよう、講座内容や実施時間、施設の改善等を図ることも望まれています。

また、近年、行政改革や市町村合併が進められている中、公民館は統廃合、職員削減、指定管理者導入等、公民館を取り巻く環境の変化により、大きな岐路に立たされています。

このような状況を踏まえ、今一度地域における公民館の在り方を見直すとともに、公民館職員のさらなる奮起が求められます。

本資料では、公民館職員が公民館の活性化方策の検討を行う際に参考となる事例やデータを紹介します。21世紀にふさわしい公民館として全国各地で活発な活動が行われることを願っています。